

小学校に入るまでにできてほしいこと

福島県立医科大学ふくしま子ども・女性医療支援センター
医学部小児科学講座
教授 横山浩之

〜第3回 絵本の読み聞かせはいつ役に立つか〜

絵本の読み聞かせはとても大切です。

1歳代では、子どもはパラパラと絵本をめくってしまい、読み聞かせになりません。それでよいのです。子どもの興味に大人が合わせる事が大切です。この意味で、1歳代の絵本の読み聞かせは、読み聞かせる大人の訓練と、いいでしょう。絵本を通して、やりとりを楽しめることが大切です。なお、動物など実在するものでやりとりしましょう。架空のこと（アニメのキャラクターなど）はことばの発達に役立ちません。

2歳代では、自分の体験と絵本の内容を結びつけて絵本を楽しむようになります。例えば、いろいろな動物が「のせて」と言って、車に乗せてもらってデパートに行く『のせてのせて』（松谷みよ子作）を大喜びするのも、この頃です。

3歳を過ぎると、ストーリーがある物語を楽しめるようになります。おすすめは、イソップ物語や日本むかし話の

ように教訓を含む物語です。この読み聞かせが役立つのはずっと後です。例えば、小学校中学年では、子どもはよく「なぜ勉強しないといけないの」と保護者に問いかけます。「アリとキリギリス」を知っていた場合「あなたは、アリになりたいの？キリギリスになりたいの？」と言えば、子どもはしぶしぶ分かってくれます。

4〜5歳の子どもにとって、絵本の読み聞かせは字を読む練習の第一歩です。字を読む準備ができる、保護者のまねをして絵本を読みます。最初は、読み聞かせられた内容を覚えて読むふりです。まちがった読みでも指摘せずに、ほめてあげましょう。ほめ続けていると、子どもは字の正しい読み方を聞いてくるようになります。このタイミングで教えると、あつという間に覚えて、子どもは勉強に自信がきます。



■予防接種はお済みですか？

《年長児対象の麻疹風しん第2期予防接種》

1歳の時に受けた麻疹風しん予防接種の抗体を確かなものにするため、幼稚園・保育園年長児に2回目の予防接種を行います。

まだ受けていない方は、早めに接種しましょう。

- 対象者 平成27年4月2日～平成28年4月1日生まれの方
- 接種期間等 令和4年3月31日までに1回

《日本脳炎予防接種特例制度》

平成17年度から21年度にかけて、日本脳炎予防接種の積極的な勧奨が控えられていた時期に、接種対象となっていた方に対して特例制度が設けられています。



特に、現在高校3年生で未接種分がある方は、進学などで地元を離れる前に接種しましょう。

- 対象者 平成19年4月1日以前に生まれた20歳未満の方
 - 接種期間等 20歳になる前日までに合計4回
- ☎健康増進課（中央保健センター） ☎2112

■しらかわ病児保育室をご利用ください

お子さんが風邪や胃腸炎などで保育園等を利用できない時、仕事を休めない保護者に代わって病児保育室の看護師・保育士がお子さんの体調を見守ります。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

- 利用時間 月～金曜日/午前8時～午後6時
- ※土・日・祝日・年末年始はお休みです。
- ※延長保育はありません。
- 対象 白河市・西郷村・泉崎村・中島村・矢吹町に住所がある1歳から12歳（小学6年生）までの児童
- 定員 1日につき6人まで
- 所在地 白河厚生総合病院の敷地内（豊地上弥次郎）
- 料金 1日あたり2,000円
- 申込先 しらかわ病児保育室 ☎215833
- ※利用を希望する方は、事前に「利用登録申込書」の提出が必要です。

